

30 藍染め（インド藍）

（料金 1セット 3,500円 ※ ハンカチ約50枚程度）

藍染めとは、生きている藍によって染める創作活動である。

1 ねらい

藍でハンカチを染める活動を通し、創作する喜び日本古来の藍の色の美しさを味わう。

2 対象及び最大人数 小学5年生以上 50人

3 所要時間 120分

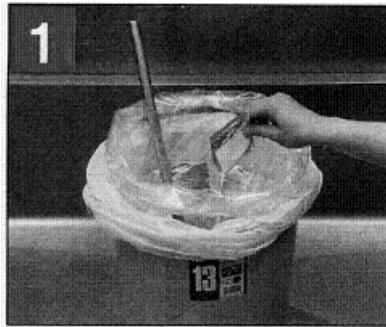
4 準備

(1) 材料 ハンカチ

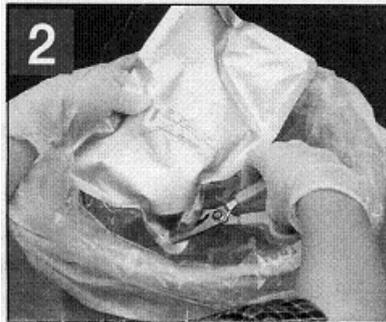
(2) 道具 バケツ（藍液用・発色剤用・ソーピング液用・水洗い用）、ゴム手袋
ビーカー、攪拌棒、物干し用ひも、せんたくばさみ、インド藍液セット
わりばし、大豆、輪ゴム、ビー玉

5 制作

○藍染め液の作り方（15ℓ作る場合） *30～40人では15ℓを2つ作る。



藍染め専用のバケツに水（15ℓ）、ハイドロ（15g）
藍染め安定剤3倍希釈（600cc）、藍溶解液c（450cc）を入れて静かに混ぜて溶かします。バケツにゴミ袋を二重にすると藍染め液がこぼれません。



インド藍液（750g）を軽く上下に振ってから、中の液を出して混ぜます。



棒で軽く混ぜれば藍染め液の完成です。液が空気で酸化しないように袋の口を絞り空気を追い出します。液の表面は青くなりますが、液の色は茶味の黄色です。

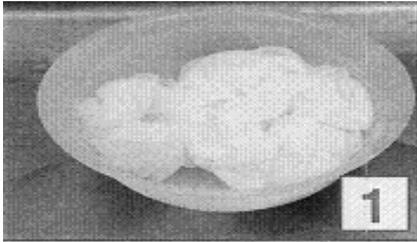


固く絞った袋の先を折り、輪ゴムでしっかり止めると安全です、このまま空気が入らなければ1ヵ月以上保存できます。

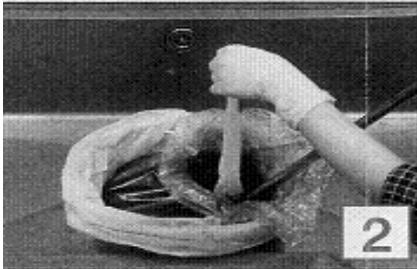


藍染め液の色は茶味の黄色が正常です。染色中～染色直後は空気に触れて酸化するため黄緑～緑色になりますが、染色後密閉ししばらく放置すると茶味の黄色に戻ります。密閉放置しても緑～青緑のままの場合はハイドロを15g加えると10～30分で茶味の黄色に戻ります。染色中に藍染め液の色が緑～青緑になったら、すぐにハイドロを15g加えます。

○藍染めの方法



藍染めする物を水で濡らしておきます。均一に濡らしないとムラになります。(濡らす前に好みによって洗濯ばさみ、ビー玉、割り箸等を取り付ける。)



濡らした布の水を軽く絞り、布を広げ、布の端から手早く藍染め液に浸け込みます。あまり固く水を絞らない事と空気の泡をできるだけ入れないことがコツです。



藍染め液を棒で静かに混ぜ常に布を動かすようにして10～30分染めます。かき混ぜる方向を変えながら布がダンゴ状に固まらないようにしてください。



ハンカチやスカーフなどは、藍染め液の中で布の端を探してつまんで引き上げます。2～5秒ほど静止し、余分の藍染め液を落としたり、端をつまんだままですばやく水洗にうつります。



Tシャツなどの藍染め液を多く含む布の場合は、藍染め液中で布をダンゴ状にまとめて軽く絞ってから引き上げ、素早く水洗に移ります。



水に浸ける～引き上げるを素早く繰り返しながら洗います。始めの間は色がよく出るので5回ほど布を上下させたら新しい水に替えて洗います。青い色が多く出ている間は、絶対に布を絞らないでください。絞りしわがそのまま発色ムラになります。

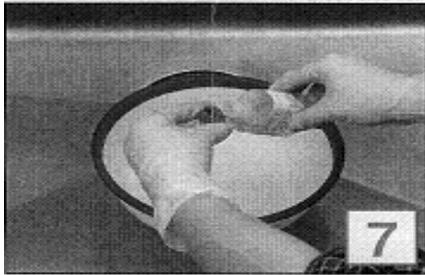


○発色液の作り方 (8ℓ)

* 30～40人では8ℓを2つ作る。

水 (8ℓ)、に発色剤EC (30cc)、酢酸80% (75cc) をバケツに入れて混ぜます。

布は黄→緑→紺に発色します。バケツの中で紺色になるまでゆっくり混ぜます。取り出して軽く水洗いします。



○洗浄液の作り方 (8ℓ)

* 30～40人では8ℓを2つ作る。

水 (8ℓ)、に藍ソーブS (75cc)、をバケツに入れて混ぜます。

洗浄液の中で1～2分浸け、軽く水で洗います。



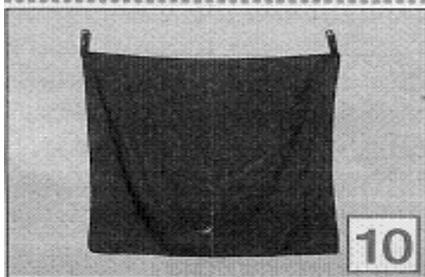
○色止め液の作り方 (15ℓ)

* 30～40人では15ℓを1つ作る。

水 (15ℓ)、に酢酸80% (キャップ3杯)、をバケツに入れて混ぜます。表面に付着した藍の色素が除去され、発色が鮮明になり洗濯や摩擦による色落ちが防止できます。



色が出なくなるまですすぎ洗いをします。



直射日光の当たらない室内で乾燥します。乾燥後軽くアイロンをかけてしわを取ります。濡れたままでのアイロンかけはしないでください。